

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和三年三月度 入選句（投稿総数二千十三句・一般投句数四百六十三句）
特選 選者 名和 永山

鎮けさや母屋に乗せる春日向 大垣市 土屋 和馬

「鎮けさや」と切れ字の「や」に対して「母屋に」つながる。「鎮める」は、安定させるとか鎮座するとかの意味があり、代々続く「母屋」にふさわしい。しかも、「春日向」を乗せているのである。厳しい冬を乗り越え、麗らかな春を母屋に偲ぶ詠者が見える。

オペラはね金華の山に春の月 岐阜市 桐山 なほ美

オペラが終わつての帰路であろう。金華山のうしろには、春の月が見えるのである。季語「春の月」は、朧の意味もあるが、ここでは「ころにはんより残っている余韻でもある。上五の「オペラはね」が、より印象に残る措辞である。

ゆらゆらと光くづして春の川 揖斐郡揖斐川町 栗野 みねお

「春の川」の情景が見事に描かれている。春の川の流れは、雪解け水も流れ、ゆつくり、ゆらゆらとしている。その水面に春の日が射し、水面の輝きが揺らいでいる。そして「くづしている」のである。「ゆらゆらと光くづして」の措辞が、春の川の様子をうまく描いている。

秀逸

万物の動きふくらむ光の春 大垣市 大角 信華

立春や炭焼女ゐて天の瑠璃 大垣市 酒井 和美

組板の弾む音して厨春 大垣市 宮脇 和子

あけぼのの春満月の白さかな 大垣市 久保田 悟義

学僧の行き交ふ仏都雪解風 岐阜市 堀江 美州

人知れず耐えたる梅の眞白かな 不破郡垂井町 大羽 志津子

引く眉の今日も歪んで山笑ふ 大垣市 末守 節子

雪解や大地に確と友好碑 養老郡養老町 田中 紫香

雪解や鼻緒のゆるき宿の下駄 岐阜市 田中 淳子

長良川雪解け水に広くなり 本巢市 土川 楽人

入選

下萌やよちよち歩ゆむ赤い靴
おほかたは横を向きたる藪椿
雪解や胎動始む細き川
優しさの瞬きとなり春の星
寒紅を引き夫と会ふオンライン
立春や土のかすかに動きゐて
父と子の校歌は同じ卒業式
まなじりを下げし野佛春隣
老梅に語りかけをる老夫婦
二月尽遅れて捲るカレンダー

不破郡垂井町	宮代	一草
愛知県名古屋市	舘野	茂子
大垣市	傍島	豊子
神奈川県大和市	岩田	爾瑠
埼玉県川口市	吉永	寿美子
海津市	横井	美圭
大垣市	村田	通夫
不破郡垂井町	川瀬	慶泉
大垣市	大原	巖
大垣市	末守	節子

入選

夕餉膳おひたしほのと芹香る
田楽の赤みそ舐める菓指
咳ひとつ落としてよりの小言かな
薄氷を押せば田水の動きけり
声荒ぶ闇を開けむ鬼やらひ
胼の手は吾の勲章妻介護
山門に張りぼての鬼二月来ぬ
新しきネクタイ春を結びたり
児の為と言ひつつ樂し石鹼玉
敵將に引き面一本青葉風

不破郡垂井町	西垣	和志
大垣市	高木	歌佐
三重県四日市市	後藤	允孝
安八郡神戸町	高橋	泰
大垣市	高津	喜久子
大阪府東大阪市	森	佳月
岐阜市	辻	雅風
北海道札幌市	北川	颯
三重県鈴鹿市	余川	もりお
埼玉県さいたま市	澤田	紫

選者吟

学び舎の桜もすでに老いにけり

永山